

SIP

Security Innovation Project

SIP Security Innovation Project

防犯セミナー

メニュー一覧



Agenda

01 クレーム対応 ～基本編～

02 クレーム対応 ～実践編～

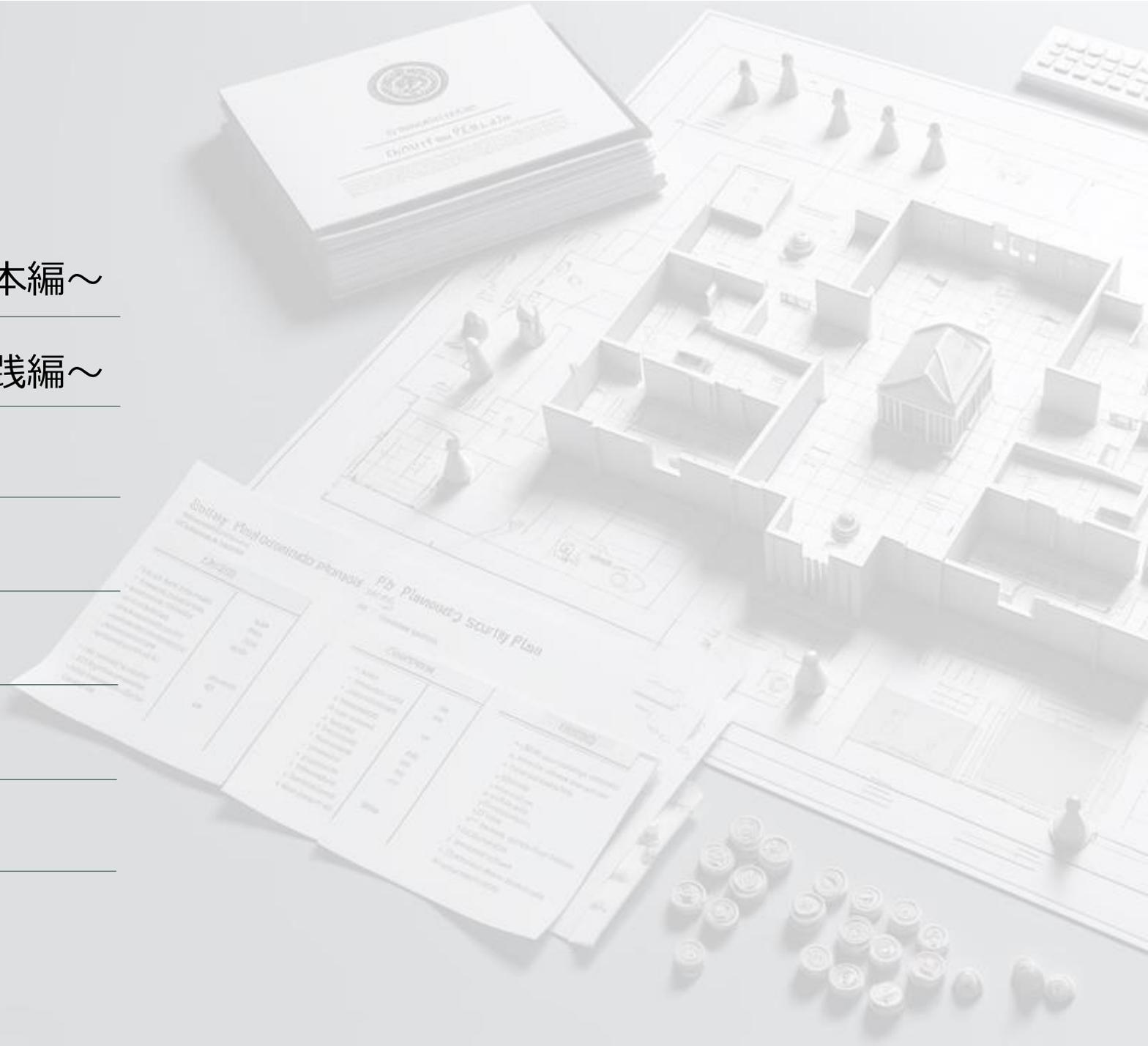
03 防犯マニュアル

04 防犯訓練

05 情報漏洩対策

06 従業員様の安全対策

07 事件後の対応





- **職場環境の改善**
- **離職率の低下**
- **求人・採用の強化**

などに効果的です。

1.カスハラとは

カスハラに関する基本的な知識を学びます。

2.コミュニケーション

コミュニケーションの観点からカスハラの判断基準や対応を学びます。

3.法律

法律の観点からカスハラの判断基準や対応を学びます。

4.物理的・心理的安全

物理的・心理的安全の観点からカスハラの判断基準や対応を学びます。

5.利害関係の解説

顧客・会社・従業員の利害関係を適切に把握し、対応力を高めます。

6.組織体制

カスハラ対策に必要な組織体制の構築について学びます。

7.フローチャート作成

1～6をふまえ、カスハラ対策時のフローチャートを作成する方法を学びます。

8.実例紹介

実際に起こった実例の紹介や対する対策を紹介します。

9.ディスカッション

実例や仮想トラブル、フローチャートを基に、対策について議論します。

10.実践訓練

カスハラの実演を交えて現場の対応を学びます。

※枠内は実践訓練メニューです

1.施設で発生する犯罪

施設の安全をおびやかす犯罪の種類を紹介し、

2.犯罪データ紹介

最新の犯罪統計データなどを紹介し、犯罪の傾向を学びます。

3.危険度別の対応

施設で発生する犯罪を危険度別に分類し、それぞれの異なる対策を学びます。

4.防犯法務の解説

防犯対策を行う上で必要な法律を学びます。

5.防犯理論の解説

防犯対策を行う上で有効な学術理論を学びます。

6.防犯機器の解説

防犯機器の機能や使い方、効果を学びます。

7.マニュアルの作成

1～6をふまえ、防犯対策マニュアルを作成する方法を学びます。

8.事例紹介

実際に起こった施設の犯罪事例や対策について学びます。

9.ディスカッション

施設の図面やマニュアルを用いて、事件発生時の対策について議論します。

10.実践訓練

ロープレ形式で様々なパターンの不審者対応訓練を行います。

※枠内は実践訓練メニューです

ex.護身術講座

自信の身を守るための護身術を体験します。



- 利用者・職員の安全
- 施設の評判
- 急な高額出費の回避

などに有効です。



- 顧客情報や企業秘密
- 顧客からの信頼
- 会社のキャッシュ

などを守ります。

1.情報漏洩とは

情報の種類や重要性、漏洩する経緯などの基礎を学びます。

2.内部不正の事例と対策

内部不正（ミスを含む）による情報漏洩の事例と対策を学びます。

3.ハッキングの事例と対策

ハッキングによる情報漏洩の事例と職員にできる対策を学びます。

4.SNSによる情報漏洩

SNSによる情報漏洩トラブルの事例紹介と対策を学びます。

5.法律リスク

情報漏洩に関する法律リスクを学びます。

1. 出退勤時の防犯対策

犯罪統計データや警察官の経験をもとに、従業員様の出退勤時の防犯対策を学びます。

2. 日常生活の中の防犯対策

犯罪統計データや警察官の経験をもとに、従業員様の日常生活の防犯対策を学びます。

3. 加害者にならないために（生活編）

日常生活でやってはいけないことを、法律面を踏まえて従業員様に再認識してもらいます。

4. 加害者にならないために（職務編）

職務中にやってはいけないことを、法律面を踏まえて従業員様に再認識してもらいます。



会社の福利厚生として

従業員の安全を提案します

- **損失拡大の回避**
- **損害の早期回復**
- **事前予防の重要性**

などを学びます。



1. 損害賠償とは

事件の被害に遭った際に、回復するための方法を法律面から学びます。

2. 証拠を残す重要性

法的にトラブルを解決するための、証拠収集の重要性を学びます。

3. 証拠を残すための方法

証拠を残すための具体的な手法を学びます。

4. 警察へ被害を訴える場合

刑事事件と民事事件の違いや、警察に対応してもらうための方法を学びます。

5. 保険で損害を回復

保険を用いた被害回復について学びます。